

令和6年度第1回士別市人づくり・まちづくり推進協議会議案

日 時 令和6年12月16日(月) 16時00分～

場 所 士別市役所 2階 会議室 201・202・203

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1)第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画 実績報告および計画について

(2)第3期士別市男女共同参画行動計画 実績報告および計画について

4 閉 会

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画実施計画

令和5(2023)年度主要施策の検証・評価・・・・・・・・・・ 1

主な生涯学習施設の利用者の推移・・・・・・・・・・ 2

令和5(2023)年度事業実績・令和6(2024)年度事業計画・・・・ 3

1. 令和5(2023)年度主要施策の検証・評価(案)

達成評価 主要施策			A 達成割合 90%以上	B 達成率 80%以上	C 達成率 70%以上	D 達成率 60%以上	E 達成率 59%以下	— 評価不可 目標値なし	計	士別市人づくり・まちづくり推進本部の評価・検証	
学習 機会 の 充 実	1. 生涯学習の基盤 づくり	件数	14	2	1	2	2	5	26	達成評価の「A: 想定以上又は想定どおりの成果が得られた」が50%を超えており、「B: 想定した成果はほぼ得られた」との合計値も昨年度を上回り、昨年度よりも市民の生涯学習の充実・基盤づくりを進めることができた。 今後、各学習機会が活発になり、市民の学習機会が多く設けられることを期待する。 また、少子化による家庭教育・学校教育の対象者減が今後予想されるため、他部署や関係機関との事業連携を検討し、継続的な学習機会の充実や基盤づくりが必要である。	
		割合	53.8%	7.7%	3.8%	7.7%	7.7%	19.2%	100.0%		
		前年度の 割合	38.5%	19.2%	3.8%	0.0%	19.2%	19.2%	100.0%		
	2. 多様な学習機会 の提供	件数	22	2	3	5	3	16	51		達成評価のAとB合わせて50%近くとなっており、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類となったことも市民の多様な学習活動が活発になってきた要因と考える。 特に「防災」や「ボランティア」など、災害時での自助や市民同士の助け合いなどの意識の高さが伺える。 他にも、「生涯スポーツと健康づくり」や「芸術文化、郷土」「交流」などは各地区のおいても活発化している。 市民の多様な学習機会の提供は、学習意欲を充足することで、生活の充実感につながるようになるため、今後も学習機会の提供、さらには市民ニーズを捉えた学習の機会づくりを期待する。
		割合	43.1%	3.9%	5.9%	9.8%	5.9%	31.4%	100.0%		
		前年度の 割合	28.8%	5.8%	5.8%	5.3%	19.2%	34.6%	100.0%		
学習 環境 の 充 実	1. 学習情報提供・ 相談体制の充実	件数	2	0	0	0	3	0	5	市民や転入者への学習情報の周知は広報誌だけではなく、市Facebookやホームページ、暮らしナビを活用しており、市民にも広く浸透していると考ええる。 生涯学習インストラクターの役割は学習相談者の適切な指導とあるが、市職員の業務の範疇であることから本事業を再考し、配置自体を協議していく必要がある。	
		割合	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	100.0%		
		前年度の 割合	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	100.0%		
	2. 学習施設・設備 の充実	件数	2	0	2	0	1	4	9		本市の学習施設は、これまで多くの市民が利用してきた(利用実績は「2. 主な生涯学習施設の利用者の推移」のとおり)。令和5年度は、前年度に比べて利用人数は増加した。上記2. 多様な学習機会の提供の検証同様、学習活動が活性化してきたものとする また、市内公共施設では令和6年度から試験的に公共施設予約管理システムを導入し、利用者への利便性を図っていくが高齢者の利用が多い市民文化センターでは、職員の負担が増すことが想定されるため、作業の効率化は今後の課題となる。
		割合	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	44.4%	100.0%		
		前年度の 割合	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	33.3%	100.0%		
	3. 学習成果を地域 還元する仕組みづく り	件数	14	1	4	0	3	4	26		達成評価の「A」および「B」の合計値は50%上回り、市民の学習成果を地域還元する仕組みづくりが進んだことが推測される。 この要因としては、学習機会が活発になったことで、学びと活動の循環の流れが戻ってきたことにあると考える。このことから学習機会の充実を図るうえで、各部署の基盤づくり、学習機会の提供は重要な取組であり、そのことが市民の活動の活性化につながるということが推測される。
		割合	53.8%	3.8%	15.4%	0.0%	11.5%	15.4%	100.0%		
		前年度の 割合	42.3%	15.4%	7.7%	0.0%	11.5%	23.1%	100.0%		
推 進 体 制 の 充 実	1. 生涯学習推進体制の充実	件数	1	0	0	0	1	4	6	講演会の在り方を再考し、市民自らが行う学習活動の支援が行政の役割であり、そのための人づくりである。 また、行政内部の組織である「人づくり・まちづくり推進本部」において、評価対象事業をPDCAサイクルによる検証を継続し、計画を推進する。	
		割合	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	100%		
		前年度の 割合	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	100.0%		
計		件数	55	5	10	7	13	33	123		
		割合	44.7%	4.1%	8.1%	5.7%	22.9%	26.8%	100.0%		
		前年度の 割合	25.2%	4.7%	5.5%	4.7%	22.9%	37.0%	100.0%		

達成評価

A:実績値/目標値 おおむね90%以上 想定以上又は想定どおりの成果が得られた。
C:実績値/目標値 おおむね70%以上80%未満 想定した成果が十分には得られなかった。

B:実績値/目標値 おおむね80%以上90%未満 想定した成果はほぼ得られた。
D:実績値/目標値 おおむね60%以上70%未満 想定した成果がほぼ得られなかった。

2. 主な生涯学習施設の利用者の推移

施 設 名		調査課	令和3(2021)年度		令和4(2022)年度		令和5(2023)年度	
			利用者数	【参考】市民一人あたりの 利用回数(利用者数/ 年度末人口)	利用者数	【参考】市民一人あたりの 利用回数(利用者数/ 年度末人口)	利用者数	【参考】市民一人あたりの 利用回数(利用者数/ 年度末人口)
1	市民文化センター	文化センター	28,811人	1.65回	40,618人	2.37回	50,622人	3.03回
2	生涯学習情報センター	図書館	15,550人	0.89回	21,768人	1.27回	24,339人	1.46回
3	あさひサンライズホール	サンライズ	11,734人	0.67回	12,574人	0.73回	11,665人	0.70回
4	図書館	図書館	14,323人	0.82回	16,937人	0.99回	16,408人	0.98回
5	博物館	博物館	3,397人	0.19回	5,298人	0.31回	5,109人	0.31回
6	総合体育館	スポーツ	38,655人	2.21回	49,878人	2.91回	57,660人	3.45回
7	スポーツ交流館	スポーツ	9,592人	0.55回	10,328人	0.60回	11,519人	0.69回
8	陸上競技場	スポーツ	16,030人	0.92回	18,332人	1.07回	19,314人	1.16回
9	日向スキー場	スポーツ	199,472人	11.40回	166,728人	9.73回	136,373人	8.16回
10	あさひスキー場	朝日スポ	23,910人	1.37回	26,375人	1.54回	26,004人	1.56回
11	ふどう野球場	スポーツ	4,219人	0.24回	5,051人	0.29回	5,343人	0.32回
12	天塩川サッカー場	スポーツ	8,812人	0.50回	1,126人	0.07回	7,779人	0.47回
13	南郷プール	スポーツ	7,077人	0.40回	7,350人	0.43回	7,345人	0.44回
14	あさひプール	朝日スポ	660人	0.04回	452人	0.03回	407人	0.02回
15	朝日農業者トレーニングセンター	朝日スポ	9,943人	0.57回	11,737人	0.69回	10,969人	0.66回
16	ふどう・天塩川パークゴルフ場	スポーツ	5,538人	0.32回	6,232人	0.36回	5,716人	0.34回
17	勤労者センター	商工	18,267人	1.04回	24,638人	1.44回	28,000人	1.68回
18	学校施設開放(スポーツ・文化)	スポーツ	20,988人	1.20回	17,380人	1.01回	11,970人	0.72回
	合 計		436,978人		442,802人		436,542人	
			R4.3末人口	17,505人	R5.3末人口	17,133人	R6.3末人口	16,708人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課 【実施主体等】	令和5(2023)年度計画 (PLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績 (DO)	実績値	達成評価 (CHECK)	成果・改善策など (ACTION)	令和6(2024)年度計画 (PLAN)	目標(指標)値
1. 生涯学習の基盤づくり											
(1) 家庭教育の充実											
①家庭教育の重要性の理解と拡大											
1	つどいの広場「きら」交流事業	0歳～3歳児と親の「遊び・出会い・情報交換・悩み相談」などの交流の場として子育てを支援する。	保育推進課	「むつくり」への委託事業 ・生涯学習センターいぶき（火～土実施、日祝・年末年始除） ・あさひ認定こども園内（月2回）	参加者数 士別地区2,000人 あさひ地区200人	「むつくり」への委託事業 ・生涯学習センターいぶき（火～土実施、日祝・年末年始除） ・あさひ認定こども園内（月2回）	参加者数 士別地区2,486人 あさひ地区129人		朝日地区に関しては、目標値の65%の利用であったが、出生も微増していることからこのままの開設を維持していく	「むつくり」への委託事業 ・生涯学習センターいぶき（火～土実施、日祝・年末年始除） ・あさひ認定こども園内（月2回）	参加者数 士別地区2,000人 あさひ地区200人
2	子育て講演会	子育てに関する知識の習得と情報収集のための講演会を開催する。	保育推進課	身近な学習の機会となるよう、下記の育児講座の中で開催	下記の通り				—	身近な学習の機会となるよう、下記の育児講座の中で開催	下記の通り
3	子育て支援センターゆら育児講座	親子観劇、講演会、応急手当、陶芸教室、ポストカード作りなど、地域の親子を対象に子育てに関する情報を提供したり、楽しんでも参加できる事業を行う。	保育推進課	教室（マタニティDAY・赤ちゃんDAY）や講座（応急手当、フラワーアレンジメント、ハンドワーク、制作等）など、地域の親子を対象に子育てに関する情報を提供したり、楽しんでも参加できる事業を行う	マタニティDAY 15組30人 赤ちゃんDAY 50組100人 各種育児講座 20組40人 ハンドワーク 15組30人	教室（マタニティDAY・赤ちゃんDAY）や講座（応急手当、前髪カット講座、性教育、フラワーアレンジメント、ハンドワーク、制作等）など、地域の親子を対象に子育てに関する情報を提供したり、楽しんでも参加できる事業を行った	マタニティDAY 31組59人 赤ちゃんDAY 127組261人 各種育児講座 109組235人 ハンドワーク 15組31人		・好評であった講座を継続すると共に、ニーズに合った内容を盛り込めるよう、アンケート内容も参考に計画・立案を行う	教室（マタニティDAY・赤ちゃんDAY）や講座（応急手当、フラワーアレンジメント、ハンドワーク、制作等）など、地域の親子を対象に子育てに関する情報を提供したり、楽しんでも参加できる事業を行う	マタニティDAY 15組30人 赤ちゃんDAY 50組100人 各種育児講座 20組40人 ハンドワーク 15組30人
4	ブックスタート事業	親子の絆とコミュニケーションを深める事を目的に4か月の乳児とその保護者に絵本の入った「ブックスタート・バック」をプレゼントする	図書館	0歳児:65人 3歳児:90人	参加者数 0歳児:65人 3歳児:90人	0歳児:61人（手渡し人数） 3歳児:85人（手渡し人数） 0歳ブックスタート12回実施 3歳フォローアップ25回実施	事業参加延べ人数 0歳児:61人 3歳児:111人	A	絵本との出会いや読み聞かせをとおして、親子のふれあいを深めることや、絵本や物語の世界を楽しむきっかけ作りとなっている。心のすこやかなを育む事業として継続する。	0歳児:65人 3歳児:90人	参加者数 0歳児:65人 3歳児:90人
5	家庭教育推進事業	家庭教育に関する知識や基本的な生活習慣の向上をめざした学習機会を提供する。	社会教育課	・生活リズムチェックシートとスタンプシートの実施 ・家庭教育つうしんの発行（毎月） ・子どもの基本的な生活習慣の推進（小学校1日入学での啓発）	回数 1回 6回 6回 (6校)	・生活リズム実態調査の実施 ・家庭教育つうしんの発行 ・子どもの基本的な生活習慣の推進（小学校1日入学での啓発）	1回 6回 6校	A	7年振りに実施した生活リズム実態調査により市内の幼児・児童の生活の基本的な生活リズムの実態を把握することができた。家庭教育つうしんの発行及び小学校1日入学での啓発において家庭教育推進に努めることができた。	・生活リズムチェックシートとスタンプシートの実施 ・家庭教育つうしんの発行（毎月） ・子どもの基本的な生活習慣の推進（小学校1日入学での啓発）	回数 1回 6回 6回 (6校)
②家庭・学校・地域による家庭教育の推進											
6	子ども読書週間事業	子ども読書週間中に、親子で図書館を楽しむことができる各種イベントを実施し、親子のふれあいと読書への動機付けを図る	図書館	4月下旬から5月上旬に各種イベント等を実施。一部他部署・市内各機関との事業連携を検討する。	事業全体参加者 100人	読書通帳配付 企画展示の実施 読み聞かせ会（参加16名） こども映画会（参加3人） ヨムヨム寄開放（利用6人・24冊貸出） こどもわくわく広場 （工作作成・読み聞かせ参加3人） 図書館クイズ（参加25人）	イベント事業 参加人数 53人	D	親子で参加できるイベントを中心に実施したが、コロナ明けの他の施設のイベント開催状況も影響し、図書館の利用自体が少なく参加が低調となった。各事業の開催方法を見直し、来館時に気軽に参加できるように事業内容を検討する。	4月下旬から5月上旬に各種イベント等を実施。一部他部署・市内各機関との事業連携を検討する。	事業全体参加者 100人
7	上士別子ども会親子交流事業	スキー教室・親子ふれあいボウリング（卒業を祝うボウリングの集い）など	上士別公民館【スポーツ・体協・上子連共催】	親睦交流会、水泳教室、スキー教室、卒業記念ボウリング大会	100人	親睦交流会、水泳教室、スキー教室、卒業記念ボウリング大会	78人	B	・計画した事業は実施 ・目標未達成 ・事業の追加を検討	親睦交流会、水泳教室、スキー教室、卒業記念ボウリング大会	100人
8	多寄子ども会親子交流事業	夏休みのラジオ体操、町内子ども会のスポーツ交流などを通じて、子ども達の創作意欲の向上と、親子の行事参加と子ども達同士の交流を図る。	多寄公民館【多寄子ども会】	7月、8月親子視察研修、7～8月ラジオ体操会、前期事業（1回）、後期事業（1回）	延べ100人	実施事業 ・子ども会ラジオ体操17人 ・親子視察研修（北広島市）①31人 ・親子視察研修（旭川市）②38人 ・後期事業（ドッチボール）26人	参加者数 延べ112人	A	コロナ禍で実施できなかった事業を開催でき、子ども達の交流、学びに繋げることができた。児童生徒数の減が会員数の減に繋がっており、効果的な事業の計画が課題。	7月、8月親子視察研修、7～8月ラジオ体操会、前期事業（1回）、後期事業（1回）	延べ100人
9	温根別子ども会親子交流事業	親子の交流会の実施：＊ウリウ大会（2月）	温根別公民館【温子連】	2月上旬 親子ボウリング大会	参加者数 15人	2月17日 親子ボウリング大会	参加者数14名	A	子どもと保護者が一緒に体験し、交流することができた。	2月上旬 親子ボウリング大会	参加者数 15人
(2) 学校教育の充実											
①社会に開かれた教育課程の推進											
10	コミュニティ・スクールの導入・運営	保護者や地域住民の意向を学校運営に反映させる学校内の協議会を設置し、「地域とともにある学校」を図る	学校教育課	学校運営協議会を設置	設置数 9協議会	学校運営協議会を設置	設置数 9協議会	A	地域によって取組の内容に差異が生じているため、他の地域の活動を共有するなどして活性化を図る	学校運営協議会を設置	設置数 9協議会
11	地域に開かれた学校づくり	学校施設の地域開放、学校行事への参加、地域参観日、学校便りの地域配布など、学校と地域が一体となった活動を展開	学校教育課	学校毎に実施	学校数 11校	学校毎に実施	学校数 11校	A	—	学校毎に実施	学校数 11校

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課 【実施主体等】	令和5(2023)年度計画 【PLAN】	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績 【DO】	実績値	達成評価 【CHECK】	成果・改善策など 【ACTION】	令和6(2024)年度計画 【PLAN】	目標(指標)値
②教育諸条件の整備・充実											
12	教職員研修	指導力の向上を図るため、士別市教育研究会による教職員相互に研究・啓発を行うと共に、教育課程の指導方法に関する調査研究に対する助成を行う。	学校教育課	3回の一斉研修と実技講習会、陸上記録会・音楽発表会などの実施	回数 6回	18の班に分かれて研修を実施したほか、教育研究発表大会を開催した。また、陸上記録会等を実施した。	回数 7回	A	研修等の実施により、指導力の向上を図った。	一斉研修や教育研究発表大会の開催、陸上記録会・音楽発表会などの実施	回数 6回
(3) 社会教育の充実											
①青少年教育の充実											
13	こども夢トーク	未来を担う子どもたちのアイデアや意見を市政に反映させるため、市内小学校や中学校を対象に、「こども夢トーク」を実施する。	中央公民館	・士別小学校 ・温根別小学校 ・上士別中学校	開催数 3校	1/25 温根別小学校実施 1/29 上士別中学校実施 2/19 士別小学校実施	3校	A	【成果】子どもの自由な発想によるアイデアを市長、教育長と語り合い、有意義な交流の場とする事ができた。	3校実施予定 ・士別南小学校 ・糸魚小学校 ・朝日中学校	開催数 3校
14	子ども議会	子どもの自由な発想を生かした意見・要望を市政へ反映させ、市内中学生の「まちづくり」への興味・関心を育むため、「子ども議会」を実施する。	中央公民館	第12回子ども議会（市内4中学校）6～8人	提言数 8件	市内中学校から6人参加 学習会4回開催 1/29 上士別中学校開催 議員報告会12月21日開催	提言数6件	B	【成果】子どもたちが調査・研究をとおして、市政に興味を持ち、自らの資質向上が図られた。感想として自信がついたなど前向きな感想が得られた。 【課題】 ・子ども議員の質問が重複した場合、調整が必要となり主体性を尊重できない。 ・商業施設や遊戯施設の設置、公共施設の更新など、質疑応答の形式化。 ・課題解決やアイデアの「実践的な学び」がなく受動的となる傾向。	中学生を対象とした「子ども議会」を「子ども議会～チャレンジ応援事業～」に変更。 中学生の日常生活や学校生活における身近な課題の解決策を市に発表する形式とし、子どもたちがそのアイデアを实践する中で、より達成感を高めながら自主性を育む学びとなるよう事業内容の充実に努める。	—
15	子ども会リーダー養成	次代を担う子どもたちを地域全体で守り育て、地域子ども会の活性化を図るため、士子連との共催により、各種リーダー養成事業や交流事業等を実施する。	中央公民館	・士別市子ども会リーダー養成講習会（初級・上級） ・1市2町合同ジュニアリーダー研修会/士別市・剣淵町・和寒町 ・子ども会リーダーSINC交流研修会	回数 2回 3回 1回	1市2町合同ジュニアリーダー研修会 第Ⅰ期 会場：剣淵町 第Ⅱ期 会場：和寒町 第Ⅲ期 会場：和寒町（中止） 参加者数延べ4名	士別市子ども会リーダー養成講習会（初級・上級）0回 1市2町合同ジュニアリーダー研修会2回 子ども会リーダーSINC交流研修会0回	C	【課題】参加希望者数の減少。	他町との協議により年3回から年1回に変更。	回数 1回
16	しべつチャレンジスクール実行委員会への支援	通学合宿事業を行い、児童の学習習慣・正しい生活習慣の定着や体力向上、児童交流を図る。	中央公民館【実行委員会】	・10月上旬に実施予定	回数 1回	10/1～10/3の期間、朝日山村研修施設で実施 参加者数11名	回数 1回	A	チャレンジスクールを実行委員会主催により実施予定。	チャレンジスクールを実行委員会主催により実施予定。	回数 1回
17	しべつチャレンジ寺子屋の実施	生活習慣が乱れがちな長期休業期間中に「まちの寺子屋」を開設し、学習習慣の定着を図る。	社会教育課	生活習慣が乱れがちな長期休業期間中に「寺子屋」を開設し、学習習慣、生活習慣の定着を図る。	参加者数 対象学年人数 411人うち15% 62人	夏と冬の2回開催し、夏はニュースポーツ（キンボール）体験やみよし市児童との交流等を行い、冬はポツチャ大会、翔雲高校の企画ゲーム等を行った。	参加者数 64人 内訳 夏31人 冬33人	A	教職員や士別翔雲高校の生徒にもスタッフとして事業に参画してもらい、参加児童の学習や生活習慣の定着と、他者との協働機会を作った。	生活習慣が乱れがちな長期休業期間中に「寺子屋」を開設し、学習習慣、生活習慣の定着を図る。	参加者数 対象学年人数 411人うち15% 62人
18	ふるさと体験広場の実施	有意義な土曜日を過ごすため、地域人材を活用し、文化活動を中心とした体験活動を提供する。	社会教育課 中央公民館 博物館	地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をとおして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供する。	事後アンケート 「ふるさと士別」の郷土愛への肯定的意見80%	・地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をとおして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供した。 ・4、5年生の参加児童に、来年も参加したいアンケートを実施したところ、延べ38人中36人が参加を希望すると回答。	肯定的意見 94.7%	A	各回の参加者にばらつきがあり、指導運営陣の手が足りなくなる場面があった。	地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をとおして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供する。	事後アンケート 「ふるさと士別」の郷土愛への肯定的意見80%
19	図書館・手づくり絵本教室	手づくり絵本の製作によって、子ども達が本に興味を持ち、読書への動機付けを図る	図書館	全年齢対象 10人程度	10人	参加者11名（保護者同伴6名）	延べ参加者 17名	A	世界で1冊となる絵本づくりをとおして想像力を育み、自分の考えを自由に表現できるきっかけ作りができた。親子での参加も視野に図書館や本に親しむことのできる事業として継続する。	全年齢対象 10人程度	参加者 10人（組）
20	租税教室	市内小中学校を対象にパワーポイントやビデオで具体的な事例により、租税の意義や役割を学習し納税の義務に対する理解を深める。	税務課	小学校3校実施	3校	・R5.6.8 士別小学校 50名（6年生） ・R5.6.9 温根別小学校 3名（5・6年生） ・R5.6.28 多寄小学校 5名（6年生）	市内 3校 / 58名	A	・使用映像が古く学校より変更要望在り ・教材映像の検討（税務署に確認）	小学校3校実施	3校
②成人教育の充実											
21	まちづくりふれあいトーク	市民参加による開かれた市政の実現をめざして、行政情報の共有化や自治意識の向上を図るため、政策メニューによる講座を開催する	くらし安全課	市民ふれあいトークの見直しを行いながら、希望により各講座を開催する。	参加者数 200人	市民ふれあいトークメニューの見直しを行った。各講座開催希望件数は7件。	参加者数 123人	D	継続してメニューの見直しを図るほか、周知方法を検討する。 （昨年より開催希望件数減少）	市民ふれあいトークメニューの見直しを行いながら、希望により各講座を開催する。	参加者数 200人
22	士別まちづくり塾	本市の将来を担う人材の育成と各分野で活躍する若者の交流と連携を図る。	社会教育課	本市の将来を担う人材の育成と各分野で活躍する若者の交流と連携を図る。 「まちづくり」に関する肯定的意見が25%増加を目指す	アンケート割合 25%	まちづくり塾7期生それぞれ個々に活動していることもあり、R5年度においては実践ができなかったが、塾生との協議で次年度に継続することとなった。	—	E	実践していないため成果なし 塾生との連絡調整不足から令和5年度での実践・成果に取り組めず、次年度に持ち越しとなった。	本市の将来を担う人材の育成と各分野で活躍する若者の交流と連携を図る。 「まちづくり」に関する肯定的意見が25%増加を目指す	アンケート割合 25%

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
③高齢者教育の充実											
23	高齢者学習推進事業 学び舎「つくも」	「集い・学び・交流」をとおして、高齢者の生きがいづくりと同世代の広い繋がりを構築する。	中央公民館	体験型講座の比率を増やして、講座内容を編成する。	登録者数 80人	北海道学 教養コース くらしコース 計 10回 10回 10回 30回 参加者数 延べ979名	登録者79名	A	【成果】高齢者にとって有意義な学びと交流機会となった。 【課題】学びの成果を活かす機会が少ない。	北海道学、教養、くらしの各コースを各10回実施予定。	登録者数 80人
24	公民館講座「高齢者教室」	自らが積極的に健康と生き甲斐を求め、学習意欲を持った高齢者の育成のため、学習機会の提供を行う。	朝日公民館	60歳以上の朝日地区の市民を対象とし、年間4講座と学び舎つくもへの参加7回の計11回を実施する(6月～2月毎月1回)	参加者数 150人	60歳以上の朝日地区の市民を対象に「あさひクラブ」として年間4講座実施(7/10、12/20、1/10、2/29)。「学び舎つくも」への参加0回	22人	E	登録者数については前年度から微増(12人→13人)となったが、登録者の確保には年々苦勞している現状にある。また、「学び舎つくも」への参加希望者が数少ないことから、今後、連携のあり方について検討していく必要がある。	60歳以上の朝日地区の市民を対象とし、年間6講座を実施する	参加者数 30人
④学校教育と社会教育との連携の推進											
25	総合型スポーツクラブ 学校部活動交流事業	学校部活動とスポーツ少年団体との共通した講演会などを開催し、今後の学社融合の基盤づくりにおける切り口とする	総合体育館【総合型クラブ】	実践スポーツ栄養学を開催する。講師：小松信隆氏を予定。	—	「フィジカルの重要性」をテーマにしたセミナーを開催。	—	—	各種事業を自主的に展開し、スポーツの普及が図られた。	「スポーツとケガ」のセミナーを開催予定。	—
⑤道民カレッジの連携推進											
26	道民カレッジの連携推進	各種講座を「道民カレッジ」の連携講座に申請し、市民の学習活動を単位認定することによって、市民の学習活動を助長する。	社会教育課	—	—	—	—	—	—	—	—
2. 多様な学習機会の提供											
(1) 地域課題に対応した学習活動の推進											
①地域課題に対する学習活動の推進											
27	男女共同参画・地域づくりセミナー	男女共同参画の視点からまちづくりの方案を見出し、地域振興に寄与するためのセミナーの開催	企画課	・男女共同参画週間などデジタルサイネージを活用した周知、啓発 ・広報への記事掲載	啓発回数 5回	男女共同参画週間にあわせてデジタルサイネージで周知した。広報紙へ記事掲載(4回) 市内企業職員と市職員を対象に「アンコンシャス・バイアス研修」としてセミナーを開催。	4回	C	広報紙やデジタルサイネージなどを活用して市民に広く周知・啓発を行う。	・男女共同参画週間などデジタルサイネージを活用した周知、啓発 ・広報への記事掲載	啓発回数 5回
28	消費者教育の推進・啓発活動	消費生活に関する自発的な学習を支援する条件整備と併せ、必要な情報を提供し、市民の自主的な組織活動を促進する	くらし安全課	各種講座の開催。	講座数 50回	消費者教育プログラムに基づき、小中高校等における消費者教育授業及び老人クラブ等団体に出席講座を実施した。	45回	A	消費者教育授業や出席講座をとおして、消費者被害防止に寄与した。	各種講座の開催。	講座数 50回
29	市民手話講習会	広く一般市民と共に手話を学び、聴覚障がい者に対する理解と協力を図る	福祉課	言語である手話を普及することにより、聴覚に障がいがある方への理解も深める。	参加者15人	11月8日～11月24日までの期間で計6回実施 (毎週 水・金曜日 午後7時～午後8時30分)	参加者数 7人	E	参加人数は目標に届かなかったが、手話を通じて、聴覚障がい者に対する理解を深めた。今後も広報・SNSを活用し広く市民周知を行う。	年1回実施予定	参加者15人
30	災害に強い地域づくり 研修会	水害・雪害等の災害時の具体的な対応等について話を聞き、普段から地域でできることは何かを皆で考える機会とする	福祉課【社会福祉協議会】	年1回実施予定	参加者50人	「冬期(雪や寒冷)に安心して生活できる地域づくり」と題して、グループワークを実施。 開催日：12月9日	参加者34人	D	参加人数は目標に届かなかったが、毎年起こりうる雪害や、吹雪、冬期での停電などについて、地域、自治会に限らず個人で行われている対策や取り組みについて話し合いを行い、防災への意識を高めることができた。	年1回実施予定	参加者50人
31	地域資源を活用した学校教育の推進	地域を愛する心豊かな子どもたちを育て、地域の力を学校教育に活用する。	学校教育課	小学校全校で農業学習を実施	学校数 6校	市内全ての学校で農業学習を実施した	学校数 6校	A	—	小学校全校で農業学習を実施	学校数 6校
32	農業講演会の開催	農業者を対象に講演会を開催し経営の向上を図る	農業振興課	農業講演会の開催	参加者数 50	上川北部地域の農業者及び農業関係機関を対象として実施。	66	A	てん菜は、畑作経営の安定化と輪作体系の維持に欠かすことのできない重要な作物で、近年のてん菜を取り巻く情勢に伴い、作付面積が指標面積を大きく下回るなど、てん菜作付への影響が危惧されている。このことから、てん菜の持続的生産を通じた農業・農村の活性化や、本市農業の着実な維持・発展を図ることを目的に講演会を開催した。	農業者などを対象に講演会を開催し経営等の向上を図る	50
33	酪農経営講習会	酪農家を対象に酪農技術及び乳質等の向上を目指すための研修会の開催	畜産林務課【士別市酪農組合連合会(事務局：市)】	R6.2実施予定	参加者数 30	R6.3.29実施 R5士別市酪農組合連合会『酪農経営講習会』1部：『酪農情勢・農業政策について』18名 2部：『GENOMEについて』17名	参加者数 延べ35	A	—	R7.3実施	参加者数 20
34	市民公開講座の開催	地域医療の充実の一助として講演会形式主に実施	市立病院 経営管理部	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、コロナ過前の方法による開催を検討	参加者数 120人/回	九州大学名誉教授 筒井裕之 先生を講師に迎え市民公開講座を開催	約90人	C	新型コロナウイルスの影響による開催中止などもあり、2018年度ぶりの開催となった。参加者数はコロナ5類移行初年の影響によるものと捉えている。	一定程度の経費を要することもあり、2024年度の開催は見送る。来年度以降の開催について開催サイクルを含め要検討。	—

第2期土別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PPLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PPLAN)	目標(指標)値
35	防災講座	防災・減災に対する意識の高揚と知識の向上を図るため、総合防災訓練を実施するなかで、避難所開設や避難所運営、講演会等開催する。	総務課	1 総合防災訓練（水防研修会） 自治会の役員を対象に、体験器材により水害の恐ろしさを認識して、マイタイムラインを作成 2 防災講話 ニーズに合わせた講話内容にして防災意識の向上に資する。	1 水防研修会 約20人 2 防災講話 約100人	1 総合防災訓練（水防研修会） 市内各自治会の役員に対し、降雨体験や土砂災害の映像を通じ水害のリスクを再確認してもらうとともにマイタイムラインを作成 2 防災講話 小学校から老人クラブまで、それぞれのニーズに合わせて講話内容を工夫し、防災意識の向上に寄与した。	1 16人 2 約200人	A	1 総合防災訓練（水防研修会） 自治会の役員等の参加率を向上させるための工夫が必要 2 防災講話 引き続き、ニーズを理解して、わかりやすい内容で防災意識の向上に資する。	1 総合防災訓練（避難訓練・援護者研修） 避難共助計画に基づく、個別避難訓練を実施して、より実効性のある個別避難計画に資するとともに、援護者研修を実施して個別計画の推進を図る。 2 防災講話 ニーズを理解し、わかりやすい内容の講話により防災意識の向上を図る。	1 総合防災訓練 避難訓練5組 援護者研修30人 2 防災講話 約100人
36	地域担当職員制度	行政全体での生涯学習を推進していくために、現状の組織体制のあり方と様々な事業内容の再点検を行い、より能動的な組織へと転換する	くらし安全課	・高齢者実態把握調査の実施（75歳以上高齢者世帯） ・地域要望への対応	—	高齢者実態把握調査の実施（75歳以上高齢者世帯） 地域要望への対応 一部の自治会で地域政策懇談会を開催	—	—	地域政策懇談会については、自治会長をと協議したうえで実施の可否を決定した。	・高齢者実態把握調査の実施（75歳以上高齢者世帯） ・地域要望への対応	—
②ボランティア活動の推進											
37	福祉課・土別市中学生・高校生ワークキャンプ	社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動に取り組むきっかけの場となることを目的とする	福祉課【社会福祉協議会】	年1回実施予定	参加者10人	「みんなが暮らしやすいまちづくり～私たちの地域のバリアフリーを見つけ、伝えよう～」と題して、ワークキャンプを実施。 開催日：9月17日	参加者21人	A	車椅子ユーザーの方との交流や講話・体験等を通じ、バリアフリーについて考えることで、支え合う心の大切さを学び、一人ひとりが主体的にボランティア活動に取り組むきっかけづくりを行いました。	年1回実施予定	参加者10人
(2) 生涯スポーツと健康づくりの推進											
①生涯スポーツの普及											
38	総合型スポーツクラブ指導者養成講習会	全国的に著名な大学教授や総合型先進地の講師を招聘し、講演会などを開催する	総合体育館【総合型ｽﾎｰｸﾗﾌﾞ】	バルシューレ、部活動改革に係る研修会を開催する。	—	バルシューレC級指導者講習会を開催。参加者10名。	—	—	各種事業を自主的に展開し、スポーツの普及が図られた。	バルシューレ、部活動改革に係る研修会を開催予定。	—
39	スポーツクラブ ジュニアスポーツクラブ	スポーツを通じて学校の枠を越えた友達づくりを目的に軽スポーツ、文化活動の実践（なんでもスポーツクラブ）	総合体育館【スポーツクラブ】	5月～2月で計16回実施予定。	—	5月から2月までの期間で、16回開催。延べ参加者数313名。	—	—	各種事業を自主的に展開し、スポーツの普及が図られた。	5月～2月で計18回実施予定。	—
40	オリンピックデラン土別大会の開催	オリンピックデーを記念して、JOCと共催で開催幼児から高齢者までオリンピックと一緒にウォーキング・ジョギング、またサイン大会や記録挑戦会などによってスポーツの楽しさを促す。	合宿の里・スポーツ推進課【実行委員会】	これまでのJOC主催のオリンピックデランではなく、発展的に実行委員会を編成し、新たな形でオリンピック・ムーブメントを推進する。（オリンピックデランではないオリパラムーブメント事業を行う）	参加者数500人	羊のまち・しべつ健康ウォーキング スポーツチャレンジ教室 オリパラフェスティバル その他、トレーニング指導、ポッチャ体験会、市民ゴルフ大会など	632	A	【成果】市民が健康な生活習慣を身につけるきっかけとして、様々なスポーツイベントや体験会などを催し、多くの市民がスポーツに親しみ、様々な活動に触れる機会を提供できた。 【課題】令和5年度からの試みのため、今後市民に浸透していくために効果的・継続的なPRを図っていく。	スポーツウィーク期間 6月15日～23日	600
41	サフォークランド土別ハーフマラソン大会の開催	国内のトップランナーを招待選手に迎え、ハーフ・10km・5km・2kmの距離で競技する	合宿の里・スポーツ推進課【実行委員会】	スタート時間の変更、5km種目の復活、ハーフマラソンコースの一部を変更する。 また、ハーフマラソンの制限時間を拡大し、参加しやすい大会とする。	参加者数1,800人	ハーフマラソンの部、10kmの部、5kmの部、2kmの部、ファンランの部、5名のゲスト等、8名の招待選手が参加 同会場ではサフォークフェスティバルも同時開催 エントリー 1,667名 運営者 526名	1,667	A	【成果】全道全国から多くのランナーや応援者を迎え、本市のPRや地域の活性化につながった。 【課題】参加者は、横ばいであり、各マラソン大会の参加者が減少しているなかではあるが、大会の魅力を高めて参加者の増加につなげる。	5kmの部を取り止め2kmに統合、参加者及び来場者の誘客、交通警備員の増員、救護体制の強化、事務局業務の分散 開催日 7月21日	1,600
42	市民クロスカントリー大会	市民ぐるみによる健康づくりと生涯スポーツの推進を図る	合宿の里・スポーツ推進課	9月10日開催予定。	参加者数200人	小学生1～3年（各男女）1.0km、小学生4～6年1.5km、中学生3.0km、高校生3.0km、一般3.0km	100	E	【成果】市民及び本市に通勤・通学する参加者に、クロスカントリーを楽しむ機会を提供することにより、本市のスポーツ振興と市民の健康づくりを支援することができた。 【課題】参加者が減少傾向にあるので、より効果的なPR等に努めながら大会の魅力を高め、参加者の増加に繋げる。	小学生1～3年（各男女）1.0km、小学生4～6年1.5km、中学生3.0km、高校生3.0km、一般3.0km 開催日 9月1日	100
43	土別中央スポーツクラブの育成	中央地区の各種スポーツ振興事業を企画及び実施。なんでもスポーツクラブ・ジュニア団体育成事業、スポーツ教室、指導者研修会等	総合体育館	ジュニア団体事業、サークル活動、健康・体力づくりサポート事業、指導者研修事業、スポーツ教室開催事業、学校部活動セミナー	—	ジュニア団体事業延べ参加者332名、健康・体力づくりサポート事業延べ参加者400名、指導者研修事業参加者10名、スポーツ教室開催事業延べ参加者563名、学校運動部セミナー事業17名。	—	—	各種事業を自主的に展開し、スポーツの普及が図られた。	ジュニア団体事業、サークル活動、健康・体力づくりサポート事業、指導者研修事業、スポーツ教室開催事業、学校部活動セミナーを開催予定。	—
44	土上別町民スポーツ交流事業	町民の健康増進・地域交流を図る。	土上別公民館【体協・ｽﾎｰｸﾗﾌﾞ】	6/18第66回土上別町民体育の集い（第3日曜日）	参加者数200人	土上別町民体育の集い（中止）	—	—	—	代替事業の検討	—
45	土上別町民冬季スポーツの集い	屋内スポーツを通じて体力増進・地域交流を深める	土上別公民館【ｽﾎｰｸﾗﾌﾞ】	1/28冬季スポーツの集い（第4日曜日）	参加者数40人	冬季スポーツの集い（中止）	—	—	—	1/26冬季スポーツの集い（第4日曜日）	参加者数40人
46	土上別スポーツクラブの育成	土上別地区市民のために各種スポーツ振興事業の企画及び実施	総合体育館土上別公民館【総合型ｽﾎｰｸﾗﾌﾞ】	6/4 春季パークゴルフ大会 6/18第66回土上別町民体育の集い	参加者数220人	春季町民パークゴルフ大会参加者15名、親子の集い参加者15名、水泳教室延べ参加者26名、スキー教室延べ参加者25名。	—	—	各種事業を自主的に展開し、スポーツの普及が図られた。	水泳教室、親子の集い、スキー教室、スナックゴルフ体験会、冬季スポーツの集いを開催予定。	—

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
47	多寄スポーツクラブの育成	全道で最初のスポーツクラブとして設立した総合型地域スポーツクラブ多寄地区住民のために各種スポーツ振興事業の企画及び実施	総合体育館、多寄公民館【総合型※-ｸﾗﾌﾞ】	エスコンフィールド視察、町民パークゴルフ交流会、町民健康教室、町民ミニバレー大会、町民卓球大会、多寄地区子ども交流会、スノーランタンの集い、町民スキー大会、スポーツウェルネス吹き矢体験会	—	町民パークゴルフ交流会参加者28名、モルック交流会参加者58名、町民卓球大会参加者13名、スノーランタン体験による参加者60名、町民モルック交流会参加者54名。	—	—	各種事業を自主的に展開し、スポーツの普及が図られた。	エスコンフィールド視察、町民パークゴルフ交流会、モルック交流会、町民ミニバレー大会、町民卓球大会、多寄地区子供会交流会、スノーランタンの集い、町民スキー大会、スポーツウェルネス吹き矢体験会、町民モルック交流会を開催予定	—
48	温根別スポーツクラブの育成	温根別地区市民のために各種スポーツ振興事業の企画及び実施	総合体育館、温根別公民館【総合型※-ｸﾗﾌﾞ】	温根別大運動会、P G大会、子供会野外体験研修、温根別ウォーキング大会、スポーツクラブ会長杯P G大会、町民ゲートボール大会、卓球教室、町民卓球大会、子どもスキー大会、親子ポーリング大会、スキー会遠征	—	温根別大運動会、子供会野外体験研修、スポーツクラブ会長杯P G大会、町民ゲートボール大会、卓球教室、町民卓球大会、子どもスキー教室、親子ポーリング大会を開催。	—	—	各種事業を自主的に展開し、スポーツの普及が図られた。	温根別大運動会、子供会野外体験研修、町民ゲートボール大会、卓球教室、町民卓球大会、子どもスキー教室、親子ポーリング大会、スキー会遠征、ポッチャ教室を開催予定。	—
49	チャレンジデーの実施	日常的なスポーツの習慣化や住民の健康増進、地域の活性化に向けたきっかけづくりを目的とした住民総参加型のスポーツイベントの実施	合宿の里・スポーツ推進課	—	—	—	—	—	—	—	—
②健康づくり学習の推進											
50	食育の推進	食の大切さの理解を深め、心身の健康と豊かな人間性を育むため「士別市食育推進計画」に基づく、関連事業を実施する。	保健福祉センター	市内イベントへのブース出展や出前講座により、食育の大切さや食育推進計画について、市民に周知・普及する。	100人	①R5.9.23消費生活展でのパネル展示、来場者にかんたんレシピを配付した。 ②出前講座等を実施した。	①30人 ②170人	A	イベントでのパネル展示や来場者にレシピを配布し、また出前講座等を実施することにより取組について認知度を高める機会となった。	市内イベントへのブース出展や出前講座により、食育の大切さや食育推進計画について、市民に周知・普及する。	100人
51	サフォークジム(R2年度から出張所サフォークジムへ事業名変更)	介護予防や認知症予防に関する知識と技術を学びながら、元気な体づくりを推進している	いきいき健康センター	出張所(多寄、温根別、上士別、朝日)で、各地区月3回実施	回数 144回	出張所(多寄、温根別、上士別、朝日)で、各地区月3回実施	回数 140回	A	介護予防、認知症予防を目的とした運動と頭の体操を実施した。今後は講話等を取り入れ介護予防の知識を深めていく。	出張所(多寄、温根別、上士別、朝日)で、各地区月3回実施	回数 144
52	いきいきサロン事業	心身の介護予防や閉じこもり予防のため、交流・学習の機会を通して地域とのつながりを持ち、高齢になって自分らしく、生きがいを持って生活ができるよう、市民の集まる場(居場所)を提供する	いきいき健康センター	中央地区週5日、朝日地区週1日開催し、講話、心身の介護予防の運動、手作業などを実施する。	回数 244日 592回	中央地区週5日、朝日地区週1日開催し、講話、心身の介護予防の運動、手作業などを実施した。	回数 288日 574回	A	加齢に伴って起こりうる疾病や必要となる制度などについて学ぶ講話の機会をつくり、多くの参加者に理解をいただくことができた。 プログラムを検討し、今後多くの方が参加したいと思えるものにしていく。	中央地区週5日、朝日地区週1日開催。講話、心身の介護予防の運動、手作業などを実施する。	294日 586回
53	いきいき健康センター介護予防事業(いきいきクラブ)	早期から、運動による介護予防と脳活動の活性化による認知症予防と一体化して取り組む事で、楽しみながら自らの健康づくりを図る。	いきいき健康センター	前期1教室、後期1教室開催。1教室全20回。	回数 40回	前期1教室、後期1教室開催。1教室全20回	回数 40回	A	介護予防、認知症予防の知識、運動習慣を身につける事ができた。多くの市民に参加していただいたよう広報や新聞への掲載、公共施設のポスター掲示、施設利用者の知人の紹介など周知活動に取り組んでいく。	前期1教室、後期1教室開催。1教室全20回	回数 40回
54	上士別町民スポーツ交流事業	フォークダンス教室・パークゴルフ交流会と大会・歩くスキー教室・ゲートボール・卓球などにより、町民の健康増進と交流を図る。	上士別公民館	6/18第66回上士別町民体育の集い(第3日曜日)	参加者数 200人	上士別町民体育の集い(中止)	—	—	—	代替事業の検討	—
55	上士別町民冬季スポーツの集い	屋内スポーツを通じて体力増進・地域交流を深める	上士別公民館【※-ｸﾗﾌﾞ】	1/28冬季スポーツの集い(第4日曜日)	参加者数 40人	冬季スポーツの集い(中止)	—	—	—	1/26冬季スポーツの集い(第4日曜日)	参加者数 40人
56	多寄町民スポーツ交流事業	パークゴルフ大会・スキー大会などにより、町民の健康増進と交流を図る。	多寄公民館【多寄パークゴルフ協会ほか】	7月下旬町民PG大会、8月上旬交通防犯PG大会、1月町民スキー教室、2月町民スキー大会	参加者数 200人	実施事業 ・パークゴルフ大会(町民28人・交通防犯23人) ・町民スキー教室45人 ・町民スキー大会は中止	参加者数 延べ96人	E	事業目的である市民の交流とスポーツの推進、健康増進を推進することができた。	7月下旬町民PG大会、8月上旬交通防犯PG大会、1月町民スキー教室、2月町民スキー大会	参加者数 200人
57	多寄地区合同運動会	競技を通し、地域住民の交流と親睦を図る。	多寄公民館【多寄町体育協会・多寄小学校・多寄保育園】	6/11多寄地区合同運動会	—	中止	—	—	—	中止	—
58	温根別町民スポーツ交流事業	卓球教室・ゲートボール大会・スキー大会・卓球大会・PG大会などにより、町民の健康増進と交流を図る。	温根別町公民館(温根別※-ｸﾗﾌﾞと共催)	7/26 パークゴルフ大会 9月下旬 町民ゲートボール大会 12月上旬 卓球大会 1月上旬 子どもスキー教室	参加者数 15人 15人 15人 12人	7/26 パークゴルフ大会(神社祭典杯と同日開催) 9/25 町民ゲートボール大会 12/3 卓球大会 1/5 子どもスキー教室	パークゴルフ大会 15名 ゲートボール大会 21名 卓球大会 21名 子どもスキー教室 10名	A	概ね参加者数が集まり、健康増進と交流を図る目標については達成できた	7/26 パークゴルフ大会(神社祭典杯と同日開催) 9月下旬 町民ゲートボール大会 12月上旬 卓球大会 1月上旬 子どもスキー教室	参加者数 15名 15名 15名 10名
59	温根別町民体育大会	自治会単位のチーム編成で開催	温根別公民館(温根別※-ｸﾗﾌﾞ主催)	6/17 温根別町民大運動会	参加者数 100人	6/17 町民大運動会	参加者数 100名	A	自治会を超えた町民同士の交流を図ることができた	6/15 温根別町民大運動会	参加者数90名

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
60	体力づくり推進事業	スポーツの生活化を図る	地域教育課(合宿の里・スポーツ推進課―朝日・朝日公民館)	水泳教室(8月上旬の2日間)基礎スキー教室(12月～1月の冬休み期間)宣言タイムマラソン(10月)	参加者数 水泳教室 50人 スキー教室 80人 宣言タイムマラソン 40人	水泳教室(8/3、8/4)→悪天候のため中止 基礎スキー教室(1/10、1/16、1/18、1/23、1/25、1/30) 宣言タイムマラソン(10/7)	水泳教室 0人 基礎スキー教室 延67人 宣言タイムマラソン 17人	E	水泳教室は中止であったが、他事業についても参加者数が前年度から減少しており、事業の実施日程や周知など、児童生徒数の減少も踏まえて再検討する必要がある。	水泳教室(8月上旬の2日間)基礎スキー教室(12月～1月の冬休み期間)宣言タイムマラソン(10月)	参加者数 水泳教室 30人 スキー教室 70人 宣言タイムマラソン 30人
61	朝日町体育協会主催事業助成	スポーツへの参加意欲と連帯感の高揚を図る	地域教育課(合宿の里・スポーツ推進課―朝日・朝日公民館)	体育まつり 160人 町民駅伝(9月) 40人 冬季スポーツ(3月) 100人	参加者数 300人	朝日体育まつり、町民駅伝大会を開催。	230	C	地域住民の健康増進及び体力向上、住民間の交流が促進された。	朝日体育まつり 6月16日 町民駅伝大会 9月1日 町民冬季スポーツ大会 3月中旬	660
62	健康づくり講演会	生活習慣病対策として健康づくり講演会を開催し、市民の健康づくりを推進する。	保健福祉センター	健康づくり講演会はR4年度まで実施となっていたため、R5年度は実施予定無し。	—	無	—	—	—	実施予定無し	—
(3) 芸術文化・郷土学習の推進と交流活動による理解拡大											
① 芸術文化活動の推進											
63	文化創作活動補助事業(人材育成・文化振興事業)	ふるさと創生基金を運用し、各種団体が行う文化関係事業に対し事業補助金を交付し、市民の自主的な文化活動を支援する	社会教育課	対象文化団体に対し、補助金を交付	件数 3件	・士別スロヴァキア国立オペラ2023 ・入船亭兩太人會	件数 2件	D	制度の周知を進めるとともに、団体からの相談等に適切に対応する。	ふるさと創生基金を運用し、各種団体が行う文化関係事業に対し事業補助金を交付し、市民の自主的な文化活動を支援する	3件
64	子ども芸術劇場	芸術鑑賞を通して小中学生の情操の涵養を図る	地域文化課	学校支援舞台芸術WS実施(ダンス・和太鼓など) 学校芸術鑑賞公演実施(民族音楽・声楽コンサートなど)※事業は指定管理者の舞藝舎に移管する	参加者数 1,200人	学校支援舞台芸術WS(ダンス・和太鼓など)、芸術鑑賞の実施 63コマ延1,702人	1,702人	A	学校へのアウトリーチや芸術鑑賞、各種WSを通して、小中学生の情操の涵養を図ることができた。	学校支援舞台芸術WS実施(ダンス・和太鼓など) 学校芸術鑑賞公演実施(民族音楽・声楽コンサートなど) ※事業主体:舞藝舎(サンライズホール指定管理者)	参加者数 1,200人
65	生涯学習フェスティバルの開催	いぶきが芸術・文化・交流などさまざまな活動の拠点として、市民参加のイベントを開催し人づくり・まちづくり活動を推進する	生涯学習情報センター	感染症対策を適切に行った上で、本来の開催主旨である参加・体験型の開催を計画し、市内の文化芸術発表の場としての継続と発展を図る。	来場者 350人	士別文化協会と共催により実施 創作作品展示(9団体103点展示、来場480人) 芸能発表(詩吟7人、来場42人) カラオケ発表(発表22人、来場76人) お茶会(参加86名) 陶芸体験(参加30名)	延べ参加・来場人数 714名	A	コロナ禍の中で中止していた、各種発表会・体験活動を再開したことにより、多くの市民の参加があった。共催の文化協会加盟団体の会員の高齢化や脱会により展示作品が減少傾向にあるが、生涯学習情報センターの利用団体の活用を視野に検討する。	開催の趣旨となる“見て・聞いて・体験する”ことによる参加・体験型の企画を継続し、市民の生涯学習活動の推進・発展を図る	参加・来場延べ数 700人
66	市民総合文化祭	市民の文化・芸術の総合発表	中央公民館	・実行委員会形式での開催とし、士別市文化協会、士別市教育研究会と連携しながら、令和5年11月(文化の日)に開催する。	作品展 1,500人 芸能発表 500人	①作品展示 11月1日～11月4日 出展者数 総計28団体 7個人 参観者 約850人 ・一般展示 作品展示数:563点 10月28日～11月5日 参観者 約300人 ②児童作品展 11/3 出演22団体 2個人 参観者 約440人 ③芸能発表会 参観者 約440人	作品展 約1,150人 芸能発表 約440人	B	各団体・個人の参加により「市民総合文化祭実行委員会」を設立し、芸能部門・展示部門ごとに検討を行い、総合文化祭を開催することができたが、参観者・出展者とも高齢化しているため、若年層の参加を促すため、中学・高校にもチラシをはってもらったが、参加はなかった。来年度も継続して検討していかなければならない。	・実行委員会形式での開催とし、士別市文化協会、士別市教育研究会と連携しながら、令和7年11月(文化の日)に開催する。	作品展 1,500人 芸能発表 500人
67	上士別地区文化祭	文化祭を通じて地域の文化を見つめると共に地域交流を深める	上士別公民館【実行委員会共催】	11/1 作品展示会・お茶会 11/3 芸能発表会	参加者数 300人	11/1 作品展示会・お茶会 11/3 芸能発表会 ・計画通り実施 ・想定を超え参加者増	参加者数 331人	A	上家二三氏より上士別の風景画等、約60点の出品をいただき多くの方が足を止めて鑑賞した。 作品展示会場は広いことから、展示物をより増やすため前回出展者に文書で案内する。	11/1 作品展示会・お茶会 11/3 芸能発表会	参加者数 330人
68	多寄地区文化祭	多寄町民による文化活動発表の場	多寄公民館【文化祭実行委員会】	11月開催予定	参加者数 200人	11月3日開催 作品展示会・芸能発表会・お茶会実施 作品展示数 145点 入場者数 182人(うち50人お茶会来場者)	参加者数 182人	A	1日日程に変更して2年目。作品展示、芸能発表、お茶会を実施。バザーは感染症対策で実施できなかったが目標に近い来場者であった。芸能発表の団体数減や作品展示数減の対応が課題。	11月開催予定	参加者数 200人
69	『文集たよろ』の発行	年1回発行	多寄公民館【文集たよろの会】	3月に発行予定	発行回数 1回	第42号を令和6年3月に発行 70部作成	1回発行	A	会員数や文集の売上げの減少等、会計状況が悪化しているため、経費の削減を検討していく必要がある。	3月に発行予定	発行回数 1回
70	士別市総合文化祭温根別会場	地域住民の芸能発表、作品展示、お茶会など体験コーナーの開催	温根別公民館	10/28 総合文化祭	参加者数 150人	10/28 士別市総合文化祭温根別会場	参加者数 90名	D	作品展示等を通じて地域交流や文化の振興を図ることができたものの、地区人口の減少により来場者数は伸び悩んだ	10/26 総合文化祭	参加者数120名
71	朝日地区町民文化祭	地域住民の作品展示、文化活動の発表への支援	朝日公民館	作品展示、芸能発表他	参加者数 800人	11月3日(金)～4日(土)開催 ・作品展示 延200人、583点 ・芸能発表出演者 延53人 ・お茶会 98人 ・来場者 延355人	706人	B	来場者数は前年度より増加したが、展示作品や芸能発表出演者数が減少傾向にあることから、今後も地域住民の文化芸術活動発表の場と文化芸術に触れる機会を提供するため、実施形態などを検討していく必要がある。	作品展示、芸能発表他	参加者数 800人
72	サンライズホール自主企画事業(鑑賞型事業)	優れた舞台を間近に観る機会の提供	地域文化課	【鑑賞型事業】音楽、演劇、芸能等プロアーティストの公演 ※事業は指定管理者の舞藝舎に移管する	参加者数 1,400人	音楽、演劇、芸能等プロアーティストの公演5公演実施 延880人	880人	D	優れた舞台を間近で観ることで、市民の多アートのニーズに対応するとともに、新たな文化活動の創造を助長させている。	【鑑賞型事業】音楽、演劇、芸能等プロアーティストの公演 ※事業主体:舞藝舎(サンライズホール指定管理者)	参加者数 1,300人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
73	サンライズホール自主企画事業(参加型事業)	新たな地域コミュニティの形成や自発的な芸術創造を目的とする機会の提供	地域文化課	【創造型事業】 『芝居で遊びましょ』VOL.21』 『学校と子どもと芝居VOL.10』制作。 各種一般向けワークショップ、レジデンス事業(滞在型:鬼太鼓座)※事業は指定管理者の舞藝舎に移管する	参加者数 600人	【創造型事業】 『芝居で遊びましょ』VOL.20』延342人 『学校と子どもと芝居VOL.9』制作 延30人	372人	D	演劇を中心とした事業展開を行い、結果として幅広い年代・地域の参加者が着実に増え、新たな文化活動の創造を助長させている。	【創造型事業】 『芝居で遊びましょ』VOL.21』 『学校と子どもと芝居VOL.10』制作。 各種一般向けワークショップ、レジデンス事業(滞在型:鬼太鼓座) ※事業主体:舞藝舎(サンライズホール指定管理者)	参加者数 500人
②郷土学習の推進											
74	博物館・郷土の歴史や風土に関する学習機会の拡充	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む土別地域の自然学習機会の提供	博物館	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む土別地域の自然学習機会の提供	主催講座年間24回 出前講座年間24回 (それぞれ月2回程度を想定)	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む土別地域の自然学習機会の提供	主催講座年間20回 出前講座年間29回	A	当初予定していた主催講座はほぼ予定どおり実施。出前講座は計画を上回る回数を実施した。	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む土別地域の自然学習機会の提供	主催講座年間20回 出前講座年間20回
③友好都市や国際交流の促進											
75	高校生短期留学事業	国際感覚や異文化交流を体験・体感するとともに、語学力の向上をめざし、本市高校生のグローバル市派遣とGB市からの受け入れを行う。	企画課【各関係団体等】	GMCへの高校生短期留学派遣事業を実施 高校生4人、引率1人	—	高校生5名、引率1名を派遣。	—	—	今後の実施体制(派遣時期等)に関し、土別翔雲高校と協議を行う。	GMCから高校生短期留学事業として高校生7名、引率2名を受入を予定。	—
76	国際交流の推進	地域の国際化と市民の国際交流に対する意識の啓発を目的とした講演会などの開催	企画課	高校生短期留学派遣実施後の報告会実施を予定。 庁舎前花壇へグローバルローズの植栽を予定。	—	高校生短期留学派遣実施後の報告会実施を実施。 庁舎前花壇へグローバルローズの植栽を実施。	—	—	高校生短期留学派遣実施後の報告会を庁内と翔雲高校(全校生徒対象)にて実施した。	GMCから市民団(市長等)の受入を予定。	—
77	人材育成事業	ふるさと創生基金を運用し、人材育成・交流促進のために補助を行う。	企画課	ふるさと創生基金を運用し、人材育成・文化振興・交流促進のために補助を行う。	件数 4件	・土別スロヴァキア国立オペラ2023 ・入船亭剛太一人会 ・グローバルマルワリー市短期留学研修事業 ・みよし市少年野球交流事業(派遣) ・みよし市少年サッカー交流事業(派遣)	件数 5件	A	制度の周知を進めるとともに、団体からの相談等に適切に対応する。	ふるさと創生基金を運用し、人材育成・文化振興・交流促進のために補助を行う。	4件
78	みよし市市民交流推進事業	友好都市であるみよし市と文化・スポーツ等の分野で、多世代にわたった市民交流を推進する(人材育成・交流推進事業の活用)	企画課【各関係団体等】	友好都市であるみよし市と文化・スポーツ等の分野で、多世代にわたった市民交流を推進する(人材育成・文化振興事業の活用)	件数 4件	・8月26日～28日土別市産業フェアに村田副市長ほか7名参加 ・11月4日～6日みよし市産業フェスタに渡辺市長ほか11名参加 ・7月25日～28日みよし市派遣交流事業としてみよし市小学生32名、引率者7名土別市訪問 ・1月9日～12日みよし市派遣交流事業として土別市小学生16名、引率者5名みよし市訪問 ・8月4日～7日みよしの野球少年団、選手18名と引率者9名が土別市訪問 ・8月4日～8日みよしのサッカー少年団、選手15名と引率者4名が土別市訪問 ・3月23日～25日土別の野球少年団、選手7名と引率者5名がみよし市訪問 ・3月23日～26日土別のサッカー少年団、選手9名と引率者3名がみよし市訪問	8件	A	制度の周知を進めるとともに、団体からの相談等に適切に対応する。また、今後も引き続き多く交流が実現できるよう事業を遂行していく。	友好都市であるみよし市と文化・スポーツ等の分野で、多世代にわたった市民交流を推進する(人材育成・文化振興事業の活用)	4件
1. 学習情報提供・相談体制の充実											
(1) 学習情報提供機能の充実											
①学習情報の収集、提供の一元化											
79	広報しべつ「生涯学習情報」のページの充実	生涯学習情報の収集と、タイムリーな発信を行い、市民が学習しやすい環境を整備する。	社会教育課	各種学習情報の掲載及び情報提供	回数 12回	各種学習情報の掲載及び情報提供	12回	A	お知らせのページに生涯学習情報を集約することにより、分かりやすくタイムリーな情報提供を行うことができた。	各種学習情報の掲載及び情報提供	12回
80	生涯学習パンフレットの発行	市民や転入者に対して啓発パンフレットを作成し、配布する。	社会教育課	生涯学習ガイドの更新、発行	回数 1回	更新なし	回数 0回	E	情報提供内容の精査、提供方法の検討	市民や転入者が気軽に生涯学習に取り組めるよう、掲載内容の精査・提供方法の検討をする。(R6協議中更新予定)	—
②学習情報のネットワーク化											
81	社会教育施設の相互申込み体制づくり	文化センター、生涯学習情報センターの使用申請書を統一するとともに、使用登録団体の情報を共有する。	文化センター 生涯学習情報センター サンライズホール	文化センター、生涯学習情報センター、サンライズホールの各使用登録団体の情報を共有する。団体登録を広く活用できるよう周知する。	—	随時情報共有済	—	A	—	—	—

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
(2) 学習相談機能の充実											
①学習相談窓口の充実											
82	生涯学習インストラクターの配置	生涯学習の指導・相談機能の充実のために各課に配置	社会教育課	インストラクターを配置	人数 40人	なし	なし	E	インストラクターの役割は学習相談者への適切な指導・助言とあるが、市職員の業務の範囲と考えるため、本事業の見直しが必要	—	—
②学習指導者の研修の充実											
83	生涯学習インストラクターの活用	生涯学習の指導・相談機能の拡大	社会教育課	研修会の開催	回数 1回	なし	なし	E	インストラクターの役割は学習相談者への適切な指導・助言とあるが、市職員の業務の範囲と考えるため、本事業の見直しが必要	—	—
2. 学習施設・設備の充実											
(1) 学習施設の充実											
①社会教育施設等の整備・充実											
84	施設の情報通信化	公共施設に無料通信Wi-Fiを設置し、学習環境を充実させる。	社会教育課	博物館、土士別公民館、多寄公民館、勤労者センターに無料通信Wi-Fiを設置し、学習環境を充実させる。	設置数 10施設	設置済 (各公民館、勤労者センターは事務所のみ)	—	A	—	—	—
85	生涯学習情報センター展示ボランティアの活用	いぶきギャラリー展示に伴う搬入・展示・搬出などへのボランティア活動	生涯学習情報センター	展示ボランティアの活動を要する展示会等の開催時に活動の要請をする。	—	実績なし	—	—	施設を利用した各種展示会等における展示は、主催者側並びに職員で対応している。ボランティアを要する大規模な展示会等が開催されていないため未実施としているが、いぶきギャラリーへの展示を希望する個人・団体の高齢化が進んでおり、ボランティアの募集を含め検討する必要がある。	展示ボランティアの募集について検討する	—
86	図書館ボランティアの活用	図書の整理、イベントの支援などへのボランティア活動	図書館	図書の清拭、整理、館内環境整備、各種事業の開催補助。	参加者数 100人	図書の清拭(一般書) 館内の環境整備(書架整理) 図書館イベントの補助・参加 リサイクルフェアの実施にかかる補助 活動回数26回	活動延べ人数 165人	A	これまで継続実施している図書の清拭は、蔵書を安心して利用していただくことに繋がっているほか、各種イベントの実施補助など意義を持つ活動となっている。	図書の整理、イベントの支援などへのボランティア活動	活動延べ数 100人
87	博物館施設ボランティア等の活用	13年度発足した博物館ボランティアの育成	博物館	13年度発足した博物館ボランティアの育成	活動人数延べ50人	13年度発足した博物館ボランティアの育成	活動人数延べ36人	C	令和5年度は活動回数は増えたものの、全体の人数はやや減少した。目標値は下回ったが、会員のメールアドレスをリスト化し、活動案内を図ったことで、周知や参加申し込みが容易にできるようになった。	13年度発足した博物館ボランティアの育成	活動人数延べ50人
②学校施設の開放・利用促進											
88	学校開放事業(学校体育館)	学校体育館の開放	総合体育館	6校で学校開放を実施。	—	6校の学校開放で利用者11,970名。	—	—	市民のスポーツ活動の実施機会を提供できた。	6校で学校開放を実施。	—
89	学校開放事業(文化ゾーン)	南中学校・多寄小学校の特別教室を開放することにより、社会教育関係団体に活動の場を提供する	社会教育課	南中学校・多寄小学校の特別教室を開放することにより、社会教育関係団体に活動の場を提供する	—	実績なし	件数 0件	—	社会教育関係団体への周知を図る。	南中学校・多寄小学校の特別教室を開放することにより、社会教育関係団体に活動の場を提供する。	—
(2) 学習施設間のネットワーク											
①学習施設間の連携											
90	学習施設の連携・情報共有	生涯学習情報誌(サークルメイト)に学習施設の情報を掲載し、共有する。	社会教育課	生涯学習パンフレットにて、施設情報を発信する。	件数 7件	更新なし	—	E	情報提供内容の精査、提供方法の検討	生涯学習ガイドに施設情報を掲載。掲載内容の精査・提供方法の検討をする。(R6協議R7更新予定)	—
②民間企業や団体等との連携											
91	学習施設での情報の収集	社会教育施設の利用申請によって、企業や団体が実施する学習情報を収集し、必要な情報を市民に提供する。	社会教育課 文化センター 生涯学習情報センター サンライズホール	—	—	—	—	—	—	—	—
92	まなび☆ガイドの発行と活用	社会教育団体等が実施する体験活動を学校、PTA、イベント主催団体等へ周知することで活動の成果を地域で生かす。	社会教育課	まなび☆ガイドの発行、活用	回数 20回	まなび☆ガイドの更新なし まなび☆ガイドの活用 (体験プログラムの実施)	12回	C	学校の学年レクなどにおいて、体験プログラムの実施にあたり、まなび☆ガイドの活用が図られている。 まなび☆ガイドの掲載内容が古いいため、掲載内容の更新が必要である。	まなび☆ガイドの発行、活用	20回

第2期土別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PPLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH E OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PPLAN)	目標(指標)値
3. 学習成果を地域還元する仕組みづくり											
(1) 学習発表機会の充実											
①多様な学習発表機会の提供											
93	いぶきギャラリーの開催	創作活動をしている個人、団体などに、自由な発表の場として開放すると共に、多くの市民に鑑賞の機会を提供する	生涯学習情報センター	年間を通じてのギャラリー利用啓発の実施	来場者 10,000人	14団体による創作作品等の展示 延べ513日	来場延べ人数 13,686人	A	各市民団体・サークルの活動がコロナ禍前の状態に戻りつつあり、活動発表の場として広く活用された。展示を鑑賞に来場する市民も回復傾向にあり、引き続き市民の芸術作品等の鑑賞の機会を提供する。	年間を通じてのギャラリー利用啓発の実施 特別企画展の開催（情報センター主催）	来場者延べ数 10,000人
(2) 学習指導者の養成											
①指導者の育成・養成											
94	地域リーダーの育成（自治環境課）	福祉・教育・交通安全・環境問題等の地域解決のための、地域リーダーの育成を図る	くらし安全課	各種研修会の実施。	参加者数 350人	①わがまちしづつを語る会の開催（自治連主催） ②町内会活動実践者研修会への参加（自治連主催） ③消費生活サポーター養成講座の開催（消費者協会と共催）	① 60人 ② 5人 ③ 延べ100人	E	語る会の開催や研修会への参加により、地域リーダーの育成を図った。 消費生活サポーター養成講座は、以前2日日程での開催のところ1日日程と短縮した。	各種研修会等の実施・参加。	参加者数 250人
②講師派遣リストの充実											
95	生涯学習資料「サークルメイト」発行	文化団体の名称等を掲載した「サークルメイト」を作成し、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる	社会教育課	隔年発行のため、令和5年度は発行予定なし	回数 0回	隔年発行のためR5発行なし	—	—	—	隔年発行していた冊子版サークルメイトから、市HPでのサークル情報の公開に変更。よりタイムリーな情報発信に努める。	—
96	まなび☆ガイドの発行と活用	社会教育団体等が実施する体験活動を学校、PTA、イベント主催団体等へ周知することで活動の成果を地域で生かす。	社会教育課	まなび☆ガイドの発行、活用	回数 20回	まなび☆ガイドの更新なし まなび☆ガイドの活用（体験プログラムの実施）	12回	C	学校の学年レクなどにおいて、体験プログラムの実施にあたり、まなび☆ガイドの活用が図られている。 まなび☆ガイドの掲載内容が古いため、掲載内容の更新が必要である。	まなび☆ガイドの発行、活用	20回
(3) 学校教育での学習活動の提供システムの確立											
①地域学校協働活動の推進											
97	地域学校協働活動の推進	幅広い地域住民の参画により、地域全体どこもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を行う	社会教育課	地域住民の活動推進	参加者数 人口あたりの協力者数20%	地域住民の活動を推進し、地域住民の学校授業補助などを実施 （人口：R6.3月末 17,133人）	参加者数 〇〇人 3,784人	A	地域学校協働活動および学校運営協議会の一体的な推進と市民周知	地域住民の活動推進	参加者数 人口あたりの協力者数20%
98	しべつ土曜子ども文化村の実施	有意義な土曜日を過ごすため、地域人材を活用し、文化活動を中心とした体験活動を提供する。	社会教育課 中央公民館 博物館	地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をととして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供する。	参加者数 45	地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をととして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供した。	実施回数：5回 参加者数：延べ123名	A	・「自然歴史体験コース」について、保護者からは「体験を通じ自然や歴史に興味を持つようになった」旨の意見が多くあり、内容の満足度は総じて高かった。 ・各回の参加者にばらつきがあり、指導運営陣の手が足りなくなる場面があった。	地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をととして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供する。	実施回数：6回 参加者数：延べ135名
(4) 地域コミュニティでの学習活動の推進											
①コミュニティ活動の充実											
99	中央公民館 下土別分館事業	パークゴルフ講習会、町民パークゴルフ大会、パソコン教室、しめ縄作り講習会、スキー教室ほか各種講習会・教室	中央公民館下土別分館	・パークゴルフ講習会 ・しめ縄作り講習会 ・分館だより「つながり」発行	講座数 2講座	・広報誌「つながり」4月～12月 9回発行 ・パークゴルフ講習会 6/4(19人)、7/8(22人) ・しめ縄作り講習会 12/24(15人)	講座数 2講座	A	【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】少子高齢化に伴う参加者数の減少	・パークゴルフ講習会及び大会（6～7月） ・しめ縄作り講習会（12月）	講座数 2講座
100	中央公民館 中土別分館事業	パークゴルフ講習会、民謡講習会ほか各種講習会・教室	中央公民館中土別分館	・民謡等各種講習会及び講演会 ・長寿寄付表 令和6年1月 ・分館だより 令和6年1月	講座数 25講座	・民謡講習会 4月～8月 月2回計10回（延40人） " 9月 月3回（延12人） " 11月～12月 月2回計4回（延16人） ・パークゴルフ講習会 6月 計1回（9人） " 7月 計2回（延16人） " 8月 計2回（延16人） " 9月 計1回（16人） " 10月 計1回（12人） " 2月 計1回（8人）	講座数 29講座	A	【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】少子高齢化に伴う参加者数の減少	・分館だよりの発行（不定期） ・民謡講習会 ・パークゴルフ講習会 ・講演会「神楽舞」及び「君が代」に宿る意味 講師：土別神社宮司	講座数 25講座
101	中央公民館 武徳分館事業	料理講習会、スポーツ交流会、町民交流会ほか各種講習会・教室	中央公民館武徳分館	・書道作品作成 ・料理等各種講習会 ・冬季町民交流会 ・広報「武徳」発行 月1回	講座数 8講座	・広報「武徳」5月～3月 11回発行 ・料理講習会 11/28(13人) ・料理講習会 1/25(10人) ・防トレ講習会 1/15(7人) ・卓球ルール講習会 2/2(9人) ・料理講習会 2/9(10人)	講座数 5講座	C	【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】少子高齢化に伴う参加者数の減少	・広報「武徳」5月～3月 ・料理講習会（11月～12月） ・町民交流会（夏、冬） ・スポーツ交流会（2月）	講座数 6講座
102	上土別公民館だより発行	全戸配布適時	上土別公民館	毎月1回（年12回）発行予定	回数 12回	毎月1回（年13回）発行	回数 13回	A	計画値以上を達成	毎月1回（年12回）発行予定	回数 12回

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PPLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(CHECK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PPLAN)	目標(指標)値
103	上士別町民パークゴルフ大会	パークゴルフを通じて体力増進・地域交流を深める	上士別公民館【体協・ｽﾎｰﾂｸﾗﾌﾞ】	6～9月開催	参加者数 40人	6/4 15名・7/2 13名 2回開催	参加者数 28人	C	地域のパークゴルフ愛好会の開催によりパークゴルフ場の維持管理が困難となった。	事業廃止	—
104	上士別公民館 川南分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	上士別公民館 川南分館	環境整備 上士別町民体育の集い親睦会 川南地区親睦のタベ 川南地区料理講習会	参加者数 80人	環境整備 川南地区親睦のタベ 川南地区料理講習会	参加者数 115人	A	参加者が増加	環境整備 川南地区親睦のタベ 川南地区料理講習会	参加者数 115人
105	上士別公民館 大和分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	上士別公民館 大和分館	春の環境整備 大和成美親睦会 秋の環境整備 子どもカルタ大会	参加者数 150人	春の環境整備 秋の環境整備	参加者数 40人	E	目標値未達成 地区住民の減少	春の環境整備 秋の環境整備 大和親睦会	参加者数 40人
106	上士別公民館 兼内分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	上士別公民館 兼内分館	環境整備 上士別町民体育の集い親睦会 環境整備 兼内冬の集い	参加者数 80人	環境整備	参加者数 16人	E	分館統合予定	環境整備	参加者数 16人
107	上士別公民館 成美分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	上士別公民館 成美分館	環境整備 親子体験学習 しめ縄づくり講習会 親子カルタ大会	参加者数 20人	環境整備	参加者数 26人	A	参加者が増加	環境整備	参加者数 20人
108	多寄公民館だより発行	全戸配布適時	多寄公民館	10回発行予定	発行回数 10回	各月版、お知らせ版計11号を発行	11回発行	A	コロナ禍で実施できなかった事業も再度実施するものが増え、掲載内容を充実し発信することができた。より見やすい紙面作成に努める。	各月発行予定	発行回数 12回
109	多寄地域づくり講演会	地区PTAと公民館との共催による講演会の開催	多寄公民館【多寄地区PTA】	8月頃開催予定	参加者数 50人	11月29日開催 講演 ファイヤー体験記～人と火をめぐる物語～ 講師 北海道LPガス協会	参加者数 38人	C	子ども達も参加し、資料を用いながら、質問形式で講座を行い、まいごり式の火起こし体験や、ガスについての理解を深めた。地球温暖化などの環境破壊について説明を受け見識を深めた。	11月頃開催予定	参加者数 50人
110	多寄雪まつり	多寄多語吹奏会が主催する「多寄雪まつり」への協力	多寄公民館【多語吹奏会】	2月開催予定	参加者数 200人	2月23日開催 ロングバット選手権、ながぐつ飛ばし大会、じゃんけん大会 他	参加者数 約250人	A	コロナ禍で実施できなかった事業を開催でき、冬の町民交流に繋がっている。人口減、高齢化の影響による担い手の負担軽減が課題。	2月開催予定	参加者数 200人
111	温根別公民館異世代の交流会	小中学生と地域住民がｽﾎｰﾂｸﾗﾌﾞ及び文化活動を通じて交流を図る。	温根別公民館	10月上旬 めん羊工芸教室 10月中旬 子ども太鼓教室 12月上旬 卓球教室 1月中旬 もちつき	参加者数 15人 6人 15人 20人	10/3 めん羊工芸教室 9/12 子ども太鼓教室 11/29 卓球教室 1/13 もちつき	参加者数 19人 7人 12人 26人	A	異世代間の交流を図る目標については達成することができた	9月中旬 子ども太鼓教室 10月上旬 異世代交流事業（絵手紙教室） 11月下旬 卓球教室 1月中旬 もちつき	参加者数 8人 15人 15人 20人
112	温根別町公民館だより発行	全戸配布適時	温根別公民館	6回発行	発行回数 6回	奇数月（5・7・9・11・1・3月）の計6回発行	6回発行720枚	A	地域におけるイベントを含めて、定期的に情報提供できた	奇数月の年6回発行を基本としつつも随時情報提供を行う	発行回数6回
113	温根別公民館 北温分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	温根別公民館 北温分館	開校式・運営委員会、環境整備、料理教室、手芸教室、親子ふれあい祭・開講式	参加者数 80人	4/16 開講式・運営委員会 6/17 環境整備 11/18 環境整備 1/22 環境整備 1/26 料理教室 2/9 手芸教室	延71人	B	分館事業を通じて、地域活動や生涯学習活動の活性化に資する内容となった	開校式・運営委員会、環境整備、料理教室、手芸教室	参加者数 70人
114	温根別町づくりの会講演会	町づくりの推進を図るため、地域住民対象に開催	温根別公民館	12月下旬開催予定	参加者数 30人	12/22 アイヌ文化について学習研修会	参加者数30人	A	アイヌ民族についての歴史や文化について学ぶことができた	12月下旬開催予定	参加者数30人
115	温根別冬まつり	バナポート・チューブ滑り台、もちまきなどのイベントを開催する	温根別公民館	3月上旬開催予定	参加者数 200人	3/10 温根別冬まつり	参加者数250人	A	昨年から変更した開催方法に市民も適応し、多くの来場者で賑わった	3月上旬開催予定	参加者数200人
116	朝日公民館 三栄分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	朝日公民館 三栄分館	ゲートボール大会（7月、8月） 収穫感謝祭（12月） 料理教室（2月） 手芸教室（2月、3月）	参加者数 60人	収穫感謝祭（12/3）、料理教室（2/3）、パン作り教室（3/11）	20人	—	ゲートボール大会、手芸教室については中止となったため、参加者数が少なくなったが、当初の事業目的は概ね達成することができた。	収穫感謝祭（12月） 料理教室（2月） 手芸教室（2月、3月）	参加者数 40人
117	朝日公民館 壬子分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	朝日公民館 壬子分館	壬子地区運動会（7月） パークゴルフ大会（8月） 料理教室（1月） 手芸教室（11・2月） 室内軽スポーツ（3月）	参加者数 60人	屋内軽スポーツ（7/9）、手芸教室（11/22）、料理教室・手芸教室（1/27）、手芸教室（2/21）、屋内軽スポーツ（3/17）	46人	—	参加者数は少なかったが、当初の事業目的は概ね達成することができた。	室内軽スポーツ（7・3月） パークゴルフ大会（8月） 料理教室（1月） 手芸教室（11・2月）	参加者数 60人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和5(2023)年度実績・令和6(2024)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和5(2023)年度実績(DO)	実績値	達成評価(CH/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和6(2024)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
118	朝日公民館 登和里分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	朝日公民館 登和里分館	登和里地区運動会(6月)、パークゴルフ大会(2月) フラワーアレンジメント(11月) 手芸教室(1月)、新年レクリエーション(1月)、料理教室(2月)	参加者数 110人	フラワーアレンジメント(11/2)、料理教室(3/2)	12人	—	運動会、パークゴルフ大会、手芸教室等実施できなかったものもあったが、地域住民の学習活動の推進を図ることができた。	パークゴルフ大会(2月)、フラワーアレンジメント(11月) 手芸教室(1月)、新年レクリエーション(1月)、料理教室(2月)	参加者数 60人
②市民活動の交流と連携											
119	市民広場「みなくる」の活動支援	市民サイドの人づくり・まちづくりの推進母体として学習活動・情報発信・交流活動などを幅広い活動を展開し、市民の生涯学習活動を助長する。	社会教育課								
1. 生涯学習推進体制の充実											
(1) 生涯学習推進基盤の充実											
①市民フォーラム等の開催											
120	まちづくり講演会	講演会・パネルディスカッション・フォーラム等を開催し、生涯学習によるまちづくりに対する市民意識の高揚を図る	社会教育課								
②自主活動グループの育成											
121	「まちの地域力」推進事業	協働のまちづくりを推進するため、市民の主體的な地域活動や市民団体などの公益的な取り組みに対して支援を行う。	企画課	市民団体(グループ)が行う課題解決等に向けた公益的的事业であって、創意工夫による市民への広がりや先駆性・モデル性のある将来的に継続した活動展開が期待できる事業への支援及び地域力による地区別計画につなげる	件数 4件	・多寄のまちづくり事業 ・まちなかにぎわい広場推進事業 ・しべつまちゼミ ・第3回尚記杯争奪北海道4年生交流大会	件数 4件	A	制度の周知を進め、新たな取り組みにつながる支援を行う。 漏れバケツ理論の観点から、備品等を市内業者から調達した場合と市外から調達した場合で補助率の差別化を図る。	市民団体(グループ)が行う課題解決等に向けた公益的的事业であって、創意工夫による市民への広がりや先駆性・モデル性のある将来的に継続した活動展開が期待できる事業への支援及び地域力による地区別計画につなげる	4件
122	市民学習企画事業(マイプラン・マイスタディ)	5人以上の市民が自主的に企画する学習等で、広く市民に参加を募るものを支援し、生涯学習の推進を図る	中央公民館	随時	件数 8件	①主催団体: いきいき体操サークル 実施月日: 4月6日(会員15人、一般3人) 4月13日(会員18人、一般3人) ②主催団体: 士別9条の会 実施月日: 6月6日(会員31人、一般18人)	2件	E	【成果】学習機会の拡大及び団体等の活性化に寄与した。 【課題】サークル団体の減少に伴い、制度の在り方について検討が必要である。	・市内団体、サークル及び実行委員会等が、市民を対象に自主的に企画した学習活動に対し、その事業経費の一部を支援する。	8件
(2) 生涯学習推進組織の充実											
①「士別市人づくり・まちづくり推進協議会」の充実											
123	「士別市人づくり・まちづくり推進協議会」の充実	生涯学習によるまちづくりを推進するための総合的かつ効果的な条件整備の推進を図り、計画の推進に関して調査研究する	企画課 社会教育課								
②「士別市人づくり・まちづくり推進本部」の充実											
124	「人づくり・まちづくり推進本部」の充実	行政全体での生涯学習を推進していくために、施策の実施に関わる協議や総合調整を図る	企画課 社会教育課								

男女がともにきらめくまちプラン

第3期士別市男女共同参画行動計画

平成30（2018）年度～令和7（2025）年度

令和5年度実績・令和6年度計画

第3期行動計画 令和5年度実績・令和6年度計画の構成 ※重点項目抜粋

1. 人権と男女平等を尊重する意識づくり

＜数値目標＞ 配偶者からの暴力に対する相談窓口の認知度 現状：－ 目標：70%（令和7（2025）年）

- | | | |
|-------------------|------------------------|-------|
| (1) 人権の尊重と暴力の根絶 | ①人権に関する啓発の推進 | p 1 |
| | ②暴力の根絶に向けた取り組み | p 2～4 |
| (2) 男女共同参画社会の理解促進 | ①男女共同参画についての啓発・学習活動の推進 | p 5～6 |
| | ②男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実 | p 7 |

2. 男女の自立を支援する環境づくり

＜数値目標＞ 男性も家事や子育てに積極的に関わり、ワーク・ライフ・バランスを図るべきであると思う人の割合

現状：80.6%（平成29（2017）年） 目標：90%（令和7（2025）年）

- | | | |
|-------------------------|------------------|-----|
| (1) ワーク・ライフ・バランスの
推進 | ①家庭生活への男女共同参画の推進 | p 8 |
| | ②子育て・介護等の支援の充実 | p 9 |

3. 男女共同参画の社会づくり

＜数値目標＞ ・審議会・委員会への女性の登用率（充て職除く） 現状：48.5%（平成27（2017）年） 目標：50%（令和7（2025）年）

・市の女性管理職の割合 現状20.6%（平成29（2017）年） 目標：25%（令和7（2025）年）

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|------|
| (1) 政策や方針決定課程での女性の
参画の推進 | ①審議会・委員会などにおける女性登用の促進 | p 10 |
| | ②事業所や団体における女性の役職等への登用促進 | p 11 |
| | ③女性の社会参画促進に向けた啓発活動と男性の理解 | p 11 |

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
1. 人権と男女平等を尊重する意識づくり								
<数値目標> 配偶者からの暴力に対する相談窓口の認知度 現状：- 目標：70%（2025年）								
（1）人権の尊重と暴力の根絶								
①人権に関する啓発の推進								
1	2	子どもの権利に関する周知	こども・子育て 応援課	新規	継続	・市民テラスの活用や市立図書館と連携した普及・啓発活動の実施 ・市広報紙での周知、学校や保育所、子どもが集まるイベント等における啓発・広報活動の実施	・市立図書館において、子どもの権利に関する絵本等の展示を実施 ・子どもの権利救済委員会において、人権擁護委員主催の人権教室、わんぱくフェスティバル、学校訪問等で広報・啓発活動を実施したほか、「救済委員会だより」を発行し、市内小・中学校の全児童生徒に配付した	・市民テラスの活用や市立図書館と連携した普及・啓発活動の実施 ・市広報紙での周知、学校や保育所、子どもが集まるイベント等における啓発・広報活動の実施
2	3	人権相談の実施	くらし安全課	継続	継続	・6人の人権擁護委員による随時相談対応（通年）のほか、特設人権相談所の開設（くらし安全課）	・6人の人権擁護委員による随時相談対応（通年）のほか、特設人権相談所を2回開設した。	・6人の人権擁護委員による随時相談対応（通年）のほか、特設人権相談所の開設
3	5	ハラスメント防止のための啓発	商工労働観光課 くらし安全課 企画課	継続	継続	・市広報紙等を活用した周知・啓発（くらし安全課） ・労働状況実態調査時による調査実施（商工労働観光課）	・労働状況実態調査において、セクシャル・ハラスメント等の防止に関する実態調査を実施（商工労働観光課） ・図書展及びパネル展の開催（くらし安全課）	・労働状況実態調査については、隔年実施となっており令和6年度については実施予定なし（商工労働観光課） ・市広報紙等を活用した周知・啓発（企画課）

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
②暴力の根絶に向けた取り組み								
4	6	女性に対する暴力や性犯罪の防止に向けた啓発	こども・子育て 応援課	継続	継続	・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の庁内電子情報掲示板の活用や公共施設でのポスター掲示による啓発 （こども・子育て応援課）	・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の庁内デジタルサイネージを活用した啓発、公共施設等においてポケットティッシュの配布及びポスター掲示による啓発を行った	・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、庁内デジタルサイネージの活用や公共施設等へのポスター掲示による啓発
			くらし安全課 地域生活課	継続	継続	・防犯協会や自治会など、地域との連携による安全安心な生活環境整備に努める （くらし安全課・地域生活課）	・防犯協会や自治会など、地域との連携による「地域の目と声をください運動」を推進し、安全安心な生活環境整備に努めた	・防犯協会や自治会など、地域との連携による安全安心な生活環境整備に努める （くらし安全課・地域生活課）
			社会教育課	継続	継続	・「指導センターだより」の発行、配付（年2回）	・夏・冬の長期休業前に配布	・「指導センターだより」の発行、配布（年2回）
						・市内書店の有害図書、カラオケボックスの点検調査（年2回実施予定）	・コンビニエンスストア（5店舗）、カラオケボックス（1店舗）の点検調査を実施	・市内書店の有害図書、カラオケボックスの点検調査（年2回実施予定）

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5(2023)年度計画	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画
5	7	児童・高齢者・障がい者等への虐待防止に向けた啓発	こども・子育て 応援課	継続	継続	・11月の児童虐待防止月間にあわせ児童福祉施設等にポスター、啓発用ポケットティッシュ、オレンジリボン等の配布、市広報等による児童虐待防止の啓発 ・家庭児童相談員を配置し児童虐待に関する相談、支援を行う。	・11月の児童虐待防止月間にあわせ児童福祉施設等にポスター、啓発用ポケットティッシュ、オレンジリボン等の配布 ・市内デジタルサイネージ、市広報等による児童虐待防止の啓発 ・社会福祉主事及び家庭児童相談員を配置し児童虐待に関する相談、支援を行った。	・11月の児童虐待防止月間にあわせ児童福祉施設等にポスター配布 ・市内デジタルサイネージ、市広報等による児童虐待防止の啓発 ・こども家庭センターを開設し、社会福祉士及び家庭児童相談員を配置し児童虐待に関する相談、支援を行う。また、未然防止や切れ目ない支援の仕組み作りのため関係機関に対し、虐待予防や早期発見、連携・協働の必要性などの周知を行っていく。
			保健福祉センター	継続	継続	関係機関と連携し、各保健事業を通じた育児支援を実施する	・マタニティスクール 6回延42人 ・新生児訪問 実53人、延57人 ・乳児健診～4か月61人、10か月59人 ・乳幼児相談～7か月67人、2歳76人 ・幼児健診～1歳6か月60人、3歳82人 こども・子育て応援課、子育て包括支援センターと連携を行い育児支援を実施した	関係機関と連携し、各保健事業を通じた育児支援を実施する
			高齢者福祉課	継続	継続	・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、市内電子情報掲示板での周知	・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、市広報での周知	・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、市広報での周知
			地域福祉課	新規	継続	・市ホームページにおいて周知を図る	・市ホームページでの周知	市ホームページでの周知

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
6	8	相談窓口の周知 や相談・支援体 制の充実	高齢者福祉課 商工労働観光課 地域包括ケア推 進課	継続	継続	・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、市広報で高齢者虐待相談窓口を掲載 ・高齢者実態調査、高齢者福祉ガイドブック、市広報で高齢者総合相談窓口とし周知（地域包括ケア推進課）	・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、市広報で高齢者虐待相談窓口を掲載 ・高齢者実態調査、高齢者福祉ガイドブック、市広報で高齢者総合相談窓口とし周知（地域包括ケア推進課）	・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、市広報で高齢者虐待相談窓口を掲載 ・高齢者実態調査、高齢者福祉ガイドブック、市広報で高齢者総合相談窓口とし周知（高齢者福祉課）
						・高齢者虐待の迅速な支援対応（介護保険課と協同） ・担当課及び庁内連絡・相談体制の確立、関係機関との連携による支援の実施（地域包括ケア推進課） ・商工労働観光課での相談対応	・高齢者虐待の迅速な支援対応（介護保険課と協同） ・担当課及び庁内連絡・相談体制の確立、関係機関との連携による支援の実施（地域包括ケア推進課） ・相談実績なし（商工労働観光課）	・高齢者虐待の迅速な支援対応 ・担当課及び庁内連絡・相談体制の確立、関係機関との連携による支援の実施（高齢者福祉課） ・商工労働観光課での相談対応（商工労働観光課）

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和 5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
(2) 男女共同参画社会の理解促進								
＜数値目標＞「男女共同参画社会」の用語の認知度 現状：- 目標：70%（2025年）								
①男女共同参画についての啓発・学習活動の推進								
7	9	広報やホームページ等による啓発活動	商工労働観光課	継続	継続	・市HPによる情報提供	・実績無し	・市HPによる情報提供
			社会教育課 中央公民館	継続	継続	・自主企画まちづくり活動の計画・実施	・活動実績なし（社会教育課） ・実績なし（中央公民館）	・土別まちづくり塾の開催（社会教育課） ・予定なし（中央公民館）
			くらし安全課 企画課	継続	継続	・広報紙等による情報提供（くらし安全課）	・広報紙等による情報提供7件（くらし安全課）	・広報紙等による情報提供（企画課）

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
8	10	セミナー・講演 会等の開催	くらし安全課 企画課	継続	継続	・男女共同参画週間の啓発等、男女 共同参画に関する記事を掲載、パネ ル展の実施（くらし安全課）	・広報しべつに男女共同参画に関す る記事を7回掲載 ・男女共同参画週間に合わせてパネ ル展、図書展の実施 ・市職員研修と合同で、企業職員向 けの男女共同参画セミナーを開催 （くらし安全課）	・男女共同参画週間の啓発等、男女 共同参画に関する記事を掲載、パネ ル展の実施（企画課）
			各公民館	継続	継続	公民館講座等の開催（中央公民館） 公民館講座等の開催（上士別） 公民館講座等の開催（多寄） 公民館講座等の開催（温根別） あさひクラブ、公民館講座等の開催 （朝 日）	・公民館講座 2件延87人（中央公 民館） ・公民館講座等 4件延92名（上士 別） ・子ども会夏休みラジオ体操会 17 人参加（多寄） ・4地区館合同公民館講座 3件8 人参加（多寄） ・手話講座 3日間 17人参加（多 寄） ・高齢者健康づくり講座 30人参加 （多寄） ・公民館講座等 7件延93人（温根 別） ・あさひクラブ(60歳以上対象) 4 事業延べ参加人数 22名（うち女性 21名） ・公民館講座・事業 8件 延べ 参加人数 148名(うち女性63名) （朝日）	・公民館講座等の開催（中央公民 館） ・公民館講座等の開催（上士別） ・公民館講座等の開催（多寄） ・公民館講座等の開催（温根別） ・あさひクラブ、公民館講座等の開 催（朝日）

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
②男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実								
9	11	学校における子どもに対する人権・平等・性教育の推進	学校教育課	継続	継続	・人権尊重と男女平等意識の浸透を図るための授業や学習活動の充実	・小学校では道徳の時間（35時間）に、信頼・友情・男女の協力などについて学習した 中学校では道徳の時間（35時間）に加え、社会科（1・2年生105時間、3年生140時間）でも、命の尊重・男女理解などについて学習した	・人権尊重と男女平等意識の浸透を図るための授業や学習活動の充実
			学校教育課	継続	継続	・人権尊重と互いの性や健康を尊ぶ視点に立った性教育の実施	・保健体育の時間などに学習した	・人権尊重と互いの性や健康を尊ぶ視点に立った性教育の実施
						・学校内での教職員の連携の取れた性と健康相談体制の確立	・適宜、相談対応した	・学校内での教職員の連携の取れた性と健康相談体制の確立
10	12	広報等による家庭への男女共同の意識啓発	社会教育課	継続	継続	・家庭教育つうしんの発行 年6回 ・講演会の開催	・家庭教育つうしんの発行 年6回	・家庭教育つうしんの発行 年5回 ・講演会の開催

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
2. 男女の自立を支援する環境づくり								
<数値目標> 男性も家事や子育てに積極的に関わり、ワーク・ライフ・バランスを図るべきであると思								
(1) ワーク・ライフ・バランスの推進								
①家庭生活への男女共同参画の推進								
11	15	男女の育児や介護・家事など相互協力の推進	くらし安全課 企画課	継続	継続	・子育て世代の積極的参加を促すため、事業・講座等の託児サービスの充実 （くらし安全課）	・託児サービス申込み件数：16件 （うち2件キャンセル） 利用子ども人数：35名 （くらし安全課）	・子育て世代の積極的参加を促すため、事業・講座等の託児サービスの充実（企画課）

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5(2023)年度計画	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画
②子育て・介護等の支援の充実								
12	17	子育て施設・サービス支援の充実	こども・子育て 応援課	継続	継続	・専任保健師、保育士等によるミニ 講話 ・マタニティDAY ・赤ちゃんDAY ・各種育児講座 ・ハンドワーク ・制作	・マタニティDAY31組59人 ・赤ちゃんDAY127組167人 ・各種育児講座109組(父9組・母 104組・子122組) ・ハンドワーク15組31人 ・制作	○子育て支援センター各種事業 ・育児講座 ・ハンドワーク ・制作 ○こども家庭センター ・マタニティDAY ・赤ちゃんDAY ・わくわくDAY ・作業療法士相談日
13	19	相談窓口の周知	こども・子育て 応援課	継続	継続	・育児相談の実施	実数381件 ・基本的な生活習慣6件 ・栄養14件 ・発達5件 ・発育261件(68.5%) ・医学的問題6件 ・生活環境56件(14.7%) ・関わり20件 ・虐待防止147件(38.6%) ・その他42件	○こども家庭センター(母子保健機 能)及び子育て支援センターでの育 児相談
			こども・子育て 応援課	継続	継続	・伴走型相談支援の実施	訪問・来所支援:256件 【内訳】 ・母子手帳交付7件 ・妊婦面談58件 ・支援員訪問95件 ・訪問79件 ・来所支援24件 ※その他別途、保健福祉センターで の新生児訪問及び個別ケース支援実 績あり	○伴走型相談支援の実施(こども家 庭センター)

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5(2023)年度計画	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画
3. 男女共同参画の社会づくり								
<数値目標> ○審議会・委員会等への女性の登用率(充て職除く) 現状:48.5%(平成29年) 目標:50%(2025年) ○市の女性管理職の割合 現状:20.6%(平成29年) 現状:25%(2025年)								
(1) 政策や方針決定過程での女性の参画の推進								
①審議会・委員会などにおける女性登用の促進								
14	41	審議会・委員会等への積極的な女性用等の継続	総務課 各公民館	継続	継続	・各種審議会、委員会の委員公募の継続と積極的な女性の登用、公表(各公民館・総務課)	・中央公民館運営審議会委員10名うち女性4人 ・上士別公民館運営審議会委員8名のうち女性2名 ・多寄公民館運営審議会委員8人のうち女性3人 ・温根別公民館運営審議会委員8名のうち女性4名 ・朝日公民館運営審議会委員8名のうち女性2名(公募委員1名含む)	・各種審議会、委員会の委員公募の継続と積極的な女性の登用、公表(各公民館・総務課)

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績（重点目標抜粋）

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和5（2023）年度計画	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画
②事業所や団体における女性の役職等への登用促進								
15	44	企業・事業所等 に対する情報提 供や啓発の推進	商工労働観光課	継続	継続	・HPなどによる啓発	・実績無し	・HPなどによる啓発
16	45	市職員の女性管 理職等の登用促 進	総務課	継続	継続	・特定事業主行動計画の推進と男女 共同参画の視点に立った人事配置等 の実施 （4/1現在女性管理職（医療職除 く）17名 18.6%）	・特定事業主行動計画の推進と男女 共同参画の視点に立った人事配置等 の実施 （R5.4/1現在女性管理職（医療職除 く）19名 18.8%）	・特定事業主行動計画の推進と男女 共同参画の視点に立った人事配置等 の実施 （R6.4/1現在女性管理職（医療職除 く）18名 18.0%）
③女性の社会参画促進に向けた啓発活動と男性の理解								
17	47	セミナー等によ る理解促進機会 の提供	総務課 くらし安全課 企画課	新規	新規	・男女共同参画週間の啓発等、パネ ル展の実施（くらし安全課） ・職員研修の実施（総務課）	・係長、主査職を対象に男女共同セ ミナーとして「アンコンシャス・バ イアス研修」を実施した。（くらし 安全課・総務課） ・市広報紙等に男女共同参画に関す る記事を7回掲載したほか、デジタ ルサイネージを活用した周知を実施 した ・市職員研修と合同で、企業職員向 けの男女共同参画セミナーを開催し た（くらし安全課）	・職員研修の実施（総務課） ・男女共同参画週間の啓発等、パネ ル展の実施（企画課）